

こくたか 連携だより

2022年発行
第181号

2月号

診療科紹介 小児科 2

小児科部長 五十嵐 恒雄

集中ケア認定看護師について 3

集中ケア認定看護師
小井戸 妙子・成瀬 暁生・反町 加寿美

患者サポートチーム会の紹介 4

医療社会事業専門員 大川 友子

栄養だより 5

臨床検査科だより 6

地域医療連携登録医のご紹介 7

セカンドオピニオンのご案内 8~9

外来診療担当表 10~11

院長閑話 12

高崎
白衣観音
(慈眼院)

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

小児科の紹介



小児科部長 五十嵐 恒雄

当院では、2020年の増築に伴う増床時に常勤医師9人を確保でき、週末の外勤医師の日当直の援助を得て、24時間365日の医師常駐を実現できたため、小児の入院を最優先とした病棟（37床）を整備して、西毛地区小児救急輪番担当日等に月25日前後の24時間の小児救急対応が可能となり、周産期に関しては、在胎32週以上の治療の必要

な新生児を対象としたNICU（新生児集中治療室：6床）、GCU（新生児回復治療室：6床）を整備し、365日24時間の体制で新生児入院に対応できるようになりました。

この体制で新生児100人弱を含めた年間1100人程度の入院診療を行い、また本年度は4月から12月の実績で1000人を超えるご紹介を頂き、救急医療とあわせ、西毛地区（藤岡市、多野郡、富岡市、甘楽、高崎・安中）の小児医療の拠点としての体裁が一応整うまでに、成長することができました。これもひとえに小児医療・周産期医療に対する地域の皆様のご指導・ご理解・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

現在は産休医師等を含む常勤医師10人の体制で、小児科二次医療、周産期医療に取り組んでいます。2020年は新型コロナウイルスの流行に伴う、社会的距離の確保の効果からか小児の流行性の感染症患者は消滅といつてよいほど激減し、入院需要も2019年との比較で7割以下に減少していましたが、2021年は夏にRSウイルスが大流行したこともあり、同8割～9割程度の入院需要が出てきている印象です。それでも本年1月になってもインフルエンザの患者さんはほぼゼロのままです。子どもの感染症が減るのはよいこととは思いますが、小児の免疫形成には感染症罹患歴が重要なファクターとなることから、今後はワクチンや治療手段のない「普通の」ウイルスの流行が、小児期・周産期に思わぬ影響を及ぼす可能性が否定できず、注意が必要と考えています。

群馬県においては、休日・夜間対応できる小児科医が減少し、全県的には現状のままでは医師の働き方改革に対応してゆくのが困難な状況です。周産期医療についても重症の母子の診療を担う総合周産期センターが整備不十分の状態であるなど、全国レベルから立ち遅れているのが実情です。

こうした状況の中、平日においては常勤医を原則2交代とするなど、医師が働きやすくなる環境を整えるために当科としてできることを継続・模索しながら、意味ある形で小児・周産期医療の拠点として運営してゆくことを目指しています。引き続き、地域の皆様のご指導をお願い致します。



集中ケア認定看護師 ってなに？



集中ケア認定看護師
小井戸 妙子
成瀬 暁生
反町 加寿美

日本看護協会では質の高い医療の提供を目的に、認定看護師資格制度が定められています。集中ケア認定看護師は、①生命の危機状態にある患者さんの病態変化を予測した重篤化の予防、②廃用症候群（「寝たきり」の状態によって起こる合併症）などの二

次合併症の予防、③回復のための早期リハビリテーションに特化した看護師です。当院では3名の集中ケア認定看護師が、ICU、手術室で勤務しています。

集中治療を受ける患者さんは、血圧・呼吸・意識の状態が不安定であることが多く、様々な医療的補助や介入が必要となりますが、そのような状態は短いほうがよいといわれています。病棟では人工呼吸器を装着している患者さんが、苦痛をなるべく感じずに治療が受けられるよう、設定や痛み止めの量などを医師と相談し、状態が悪化せず落ち着いて過ごせるよう活動しています。また、人工呼吸器を装着している状態でも、全身の状態をみながら座る練習や足踏みなどを積極的に行い、「寝たきり」を予防し、人工呼吸器を装着する期間や集中治療室で過ごす期間が少しでも短くなるよう、多職種のスタッフとともに取り組んでいます。

院内全体に向けた活動では、患者さんの状態変化に迅速に対応できるような看護師の育成にも携わっています。急変対応や急変察知など、様々なテーマで研修会を企画・実施しています。またRST（呼吸ケアチーム）メンバーとして、人工呼吸器を装着した患者さんを対象に、呼吸リハビリテーションの推進や口腔ケアなど、患者さんのケアに関するアドバイスを行うなどの病棟横断的な活動に取り組んでいます。この活動では、患者さんの機能回復や栄養状態の評価も行いながら、よりスムーズな回復をサポートしています。

治療が高度化していく中で、看護師も常に新しい知見を得ながら、患者さんの早期回復を目指したお手伝いを行っています。



患者サポートチーム会 のご紹介

医療社会事業専門員 大川 友子

入退院支援に関する様々な課題を検討・協議する場として、毎月1回「患者サポートチーム会」を開催しています。

本会は、医師、看護師（病棟や外来等）、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、事務職員等の多職種で構成されています。各回のテーマによっては研修医や各職種の学生も参加しています。

活動内容としては、各部門における入退院支援に関する取り組みや、入退院支援マニュアルや入退院支援パスの運用状況についての共有、各職種の視点から提案された入退院に係る課題について多職種で検討する「事例検討」、チームメンバーがACP（アドバンスケアプランニング）について考える「もしバナゲーム」などを通して、患者さんやそのご家族等の自己決定を支える入退院支援を実践できるよう取り組んでいます。また、院内職員向けには「患者サポート通信（通称：かえる通信）」を発行し、本会の活動を様々な部門や多職種へ発信しています。

当院で治療をされている患者さんやそのご家族等が安心・納得して治療を受けながら自分らしくより良い生活を送れることを目指し、今後も一丸となって活動していきます。



▲もしバナゲームの様子

患者サポートチーム会 2021年度活動内容

- 4月 入退院支援パスの運用について
- 5月 ACPについて考える：もしバナゲーム
- 6月 事例検討：管理栄養士より事例提供
- 7月 事例検討：理学療法士より事例提供
- 9月 事例検討：薬剤師より事例提供
- 10月 事例検討：医療ソーシャルワーカーより事例提供
- 11月 ACPについて考える：もしバナゲーム
- 12月 事例検討：看護相談看護師より事例提供
- 1月 入退院支援パスの運用状況について
- 2月 退院支援の実際：グループディスカッション
- 3月 年度の目標評価、次年度に向けての課題共有



栄養だより

ほうれん草を食べると POPEYE®のようになれる!? (ポパイ™)



突然ですが皆さんは「ポパイ」をご存知でしょうか？ 2世代以降の方はあまりご存じないかもしれません。「ポパイ」とはアメリカのコメディ漫画の主人公で、ポパイがほうれん草（缶詰）を食べると筋肉モリモリに変身し超人的なパワーで宿敵ブルートをぶっ飛ばし、恋人のオリーブを守るというアメリカの短編コメディ漫画です。日本でもテレビアニメーション化されて、放映されていました。私も子供の頃はアニメを見て「ポパイ」のようになれると思い、ほうれん草を沢山食べた記憶があります（当時は親の食育戦略だったかもしれませんが…）。

さて、そんな漫画キャラクターの世界での話だったのですが、近年いくつかの研究で「ほうれん草を食べると筋力が增强される」と科学的に証明がされたようです。ほうれん草など（葉物野菜）に含まれる硝酸塩を適量（およそ90mg/日程度）、野菜から摂取すると年齢や運動習慣に関わらず、下肢の筋力を強化し筋機能を維持する可能性が示唆されたとのことです。1)



硝酸塩とは広く土壤中に分布し、植物は「根」から吸収しアミノ酸やタンパク質を合成しています。また食品添加物（発色剤）としても利用が認められていますが、今回の研究結果では野菜からの摂取によってのみ、その効果が得られたそうです。また硝酸塩の摂取量と発がん性の関連について問題とされたこともありましたが、FAO/WHO合同食品添加物専門家会合（JECFA）などはこれを否定しています。2)

推奨量としては**1日50g程度**（ほうれん草1株分くらい）が良いようです。またほうれん草にはシュウ酸が多く含まれている種類もあり、茹でこぼしをせずに多量に摂取すると尿路結石の原因となることがあります。但し、茹でると硝酸塩も流出するため、上手な食べ方としてはカルシウムの多い食品と一緒に取ること（消化管内でシュウ酸とカルシウムを結合させて体内に吸収させずに便として排泄させる）をお奨めします。具体的には「卵、乳製品、大豆製品、小魚類（よく噛むか粉末状が理想）」などとの組み合わせが良いでしょう。

メニュー例

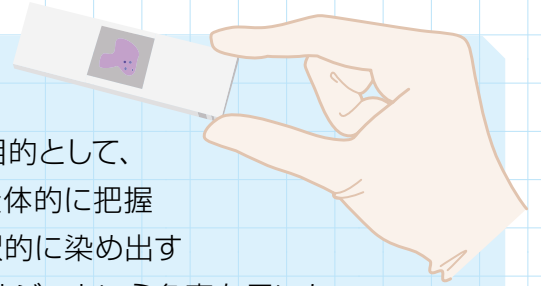
ほうれん草の卵とじ、ポパイエッグ、
ほうれん草入りシチューやグラタン、
ほうれん草白和え 等



ほうれん草の旬は元々は真冬の今の季節で、味も栄養価も夏場より高くなります。また群馬県のほうれん草出荷量は全国でもトップクラスです。コロナ禍で外出が減り、下肢の筋力低下が心配な方は地元群馬産のほうれん草を毎日食事に加えてみるのはいかがでしょうか？ 適度なトレーニングとタンパク質の摂取も行えば、さらに相乗効果が期待でき、あなたもポパイのようになれるかもしれませんよ！

参考文献： 1) Sim.M, et al. Dietary nitrate intake is positively associated with muscle function in men and women independent of physical activity levels. The Journal of Nutrition, Volume 151, Issue 5, May 2021, Pages 1222-1230.

2) 農林水産省 「野菜等の硝酸塩に関する情報」
(https://www.maff.go.jp/j/syuan/seisaku/risk_analysis/priority/syosanen/)（最終アクセス2022年1月20日）

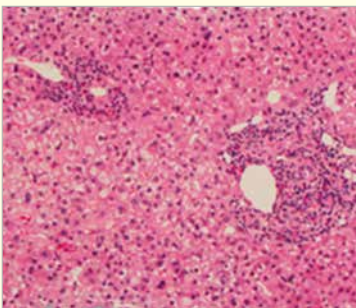


今回は病理組織標本作製の染色法について説明します。

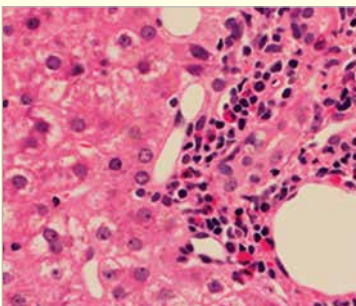
病理組織学的検査においては、病理診断に必要な所見を得る目的として、各種の染色法が選択・実施されます。染色法には、組織像を全体的に把握するために行われる“一般染色”と、特定の組織成分だけを選択的に染め出す“特殊染色”があります。一般染色としてはヘマトキシリンとエオジンという色素を用いたヘマトキシリン・エオジン染色（HE染色）が代表的で、病理診断を行ううえで欠かすことのできない染色法です。HE染色から得られる組織内の情報はとても多く、特に核内のクロマチンや細胞質、間質に生じる微細構造の変化をとらえるのに適しています。病理組織診断の大半はHE染色標本によって判定されているといっても過言ではありません。

一方ですべての組織内構造をHE染色だけでとらえるには限界があります。例えば、特定の線維成分の増減や病原体感染の有無などをHE染色だけで判定するのは困難なことが多いため、目的に応じて特殊染色が行われています。

◆ 一般染色

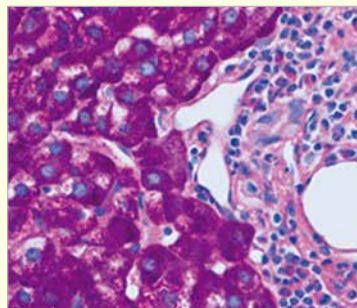


HE染色（弱拡大）

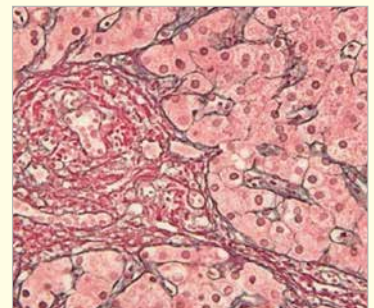


HE染色（強拡大）

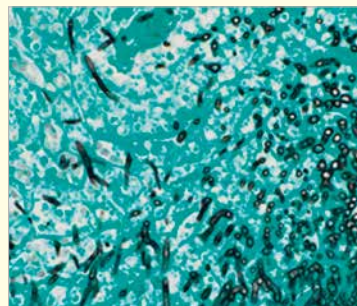
◆ 特殊染色



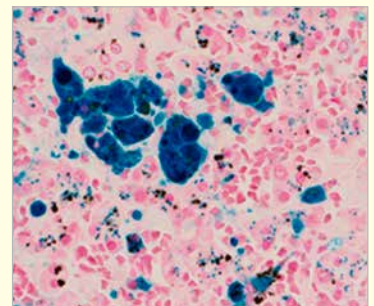
PAS染色
（グリコゲン、酸性粘液：赤紫色）



鍍銀染色
（細網繊維：黒色 膠原線維：赤褐色）



グロコット染色
（真菌：黒褐色～黒色）



ベルリンブルー染色
（ヘモジデリン、アスベスト：青色）

今回は細胞診の染色法について説明します。

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

ヒルズレディースクリニック

院長あいさつ

当院では、リプロダクション（不妊治療）・産科・婦人科の診療を行っております。女性の心と体の健康維持を充実した設備と経験豊富なスタッフでサポートします。地域に密着し、患者さまに愛され、信頼されるクリニックを目指しています。



ヒルズレディース
クリニック
院長
神岡 潔



診療科・病院案内

産婦人科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:45~12:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:30~17:30)	●	●	●	△	●	△	△

群馬県前橋市総社町3607 TEL: 027-253-4152

当院には、複数の産婦人科医、麻酔科医、そして同一法人内の『おうちこどもクリニック』小児科医と経験豊富なスタッフが在籍しています。スタッフ全員で、受診される患者さまのからだ、赤ちゃんの健やかな誕生・成長を支え、地域のかかりつけ医として日々努力してまいります。

かみおこどもクリニック

院長あいさつ

ちいさなお子さまをクリニックに連れて行く。想像していた以上に大変な事と思います。自宅で行えることはなるべく自宅で済ませられる。病院でも安心してこどもの要求に応えることができる。受診が終わる時間が把握できる。「そんなクリニックがあったらいいな」から、かみおこどもクリニックはスタートしました。こどもの健康、そしてお母さんの安心。お気軽にご相談ください。

かみおこども
クリニック

院長

神尾 綾乃



診療科・病院案内

小児科

※：前日が祝日の場合は、火曜日午前診療となります
▲：第4土曜は休診となります

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:50~11:30)	●	※	●	●	●	▲	△
午後(12:50~16:00)	●	△	●	●	●	△	△

群馬県高崎市台町35-2 TEL: 027-315-3741

丁寧でわかりやすい説明はもちろん、待ち時間の短縮やクリニック内でお薬を受け取れるなど、あらゆることをワンストップで済ませることができる環境を用意しています。お子さまのどんなにちいさな変化であっても、ご家族は非常に心配になってしまうものです。診察を受けるためのハードルを無くしたい。どんな小さな不安でも解消される、そんなクリニックを目指しています。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。



対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円(消費税込み)

30分以上 11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療(カテーテル治療)	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金(午前)
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	井上 雅晴	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般(眼腫瘍を除く)	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺 孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 予約のみ 飯塚 堯 午前	木村 彰仁 午前 (真下 大和) 予約のみ	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) 午後・予約専門外来	佐藤 正通 木村 彰仁 午前
栄養食事指導外来		佐藤 正通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	須江 麻衣 午前 (植原 正也) 午前	須江 麻衣 午前 伊藤 大貴 午前	渋沢 信行 午後	渋沢 信行 午前 伊藤 大貴 午前
神経内科	(池田 雅美)	平柳 公利	菊池 雄太郎	丸山 琴音 午前 (古田 夏海) 午後・新患外来	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 若松 郁生 午前	細野 達也 内田 恵	増淵 裕朗 田口 浩平	中川 純一 増淵 裕朗	細野 達也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 午前 安岡 秀敏 午前 上原 早苗 午前 都丸 翔太 午前 (石原 弘) 午後	星野 崇 午前 鈴木 悠平 午前 佐野 希望 午前 都丸 翔太 午前 (石原 弘) 午後	柿崎 暁 午前 安岡 秀敏 午前 増田 智之 午前 成清 弘明 午前 (石原 弘) 午後	長沼 篤 午前 増田 智之 午前 鈴木 悠平 午前 (工藤 智洋) 午後・第3週以外	星野 崇 午前 佐野 希望 午前 田村 優樹 午前 (岡野 祐大) 午後
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 岡野	安岡 / 増田	上原 / 佐野	上原 / 佐野 / 都丸	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 午前・通常 / 午後・不整脈外来 村田 智行 午前 大駒 直也 第1, 3週午前	小林 洋明 高橋 伸弥 午前 (金澤 紀雄) 再来	広井 知歳 太田 昌樹 午後・不整脈外来 羽鳥 直樹 午前	福田 延昭 午前 柴田 悟 午前 千吉 彩花 第2, 4週午前 (金澤 紀雄) 再来	小林 紘生 午前・通常 / 午後・不整脈外来 太田 昌樹 第2, 4週午後・ペーシング・力一外来 久野 貴弘 午前
新患外来 (午前)	高橋 伸弥	久野 貴弘	村田 智行	羽鳥 直樹	小林 洋明
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前
小児科	五十嵐 恒雄 午前 内田 亨 午後 木村 有希 午後	五十嵐 恒雄 午後 倉田 加奈子 午前 諸田 潤一郎 午後第1, 2, 5週のみ (神尾 綾乃) 第4週午後	五十嵐 恒雄 午前 倉田 加奈子 午後 佐藤 幸一郎 午後 (滝沢 琢己) 第2, 4週午後 <乳児健診> 午前	倉田 加奈子 午前 西澤 拓哉 午後 田端 洋太 午前 (岩脇 史郎) 午前	五十嵐 恒雄 午後 佐藤 幸一郎
小児外科		(西明・高澤慎也) 第4週午後	(西明・高澤慎也) 第1週午後		
外科 (消化器)	坂元 一郎 午前・通常 / 午後・肝胆脾専門外来 田中 成岳 午前・通常 / 午後・食道専門外来	小川 哲史 午前 成澤 英司	田中 寛 午前・通常 / 午後・肝胆脾専門外来 岡田 幸士 午前・通常 / 午後・上部消化管専門外来	小川 哲史 午前 平井 圭太郎 午前・通常 / 午後・肝胆脾専門外来 小川 哲史 小川 祐介 (栄養士) 小川 哲史 午後	宮前 洋平 午前・通常 / 午後・下部消化管専門外来 星野 万里江 午前・通常 / 午後・下部消化管専門外来
栄養サポート外来					
禁煙外来					
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	第1, 3, 5週午後・予約	

1 外来診療受付時間

8:30 ~ 11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでのお薬をご持参ください。

2 休診日 土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通じた
事前予約にご協力下さい。

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴	栗原聰太	(青木雅典) 午前	井上雅晴	栗原聰太
疼痛緩和内科	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前	鯉淵幸生	鯉淵幸生	(荻野美里) 第2,4週午後	高他大輔 午前
	徳田尚子 午前	高他大輔 午前	高他大輔	(中澤祐子) 第1,3,5週午後	徳田尚子 第1,3,5週午前
	成澤瑛理子 午前	徳田尚子	徳田尚子	交代制 午前・予約	成澤瑛理子 第2,4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅	大澤敏久	荒毅	新井厚	大澤敏久
	信太晃祐	齋藤健一	信太晃祐	遠藤史隆	齋藤健一
	遠藤史隆	書上韻	一ノ瀬剛 書上韻	<手術日>	一ノ瀬剛
形成外科	<手術日>	中村英玄	中村英玄	中村英玄	交代制
脳神経外科	田中志岳	栗原秀行	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科		(井上千鶴) 紹介・予約			(内山明彦) 紹介・予約
産婦人科	伊藤郁朗	青木宏	大枝涼平 午前	(金井眞理) 午前	伊藤郁朗
	永井あや	黒住未央	(小林梓) 午前	交代制 午前	青木宏
	黒住未央	井上拓哉			永井あや
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌
	岡宮智史				岡宮智史 午前
放射線治療科	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約	永島潤 紹介・予約
	堀込瑛介 紹介・予約	堀込瑛介 紹介・予約	堀込瑛介 紹介・予約	堀込瑛介 紹介・予約	堀込瑛介 紹介・予約
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	薬師寺孝 紹介・予約	薬師寺孝 紹介・予約	<手術日>
	新患外来 薬師寺孝 紹介・予約		前山恵里 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約	前山恵里 紹介・予約
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約
	木村将典 紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約	木村将典 紹介・予約	木村将典 紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約
	倉持真理子 紹介・予約	(荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ、紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約		

() の医師は非常勤です。

令和4年2月1日現在

3 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

4 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

冬季オリンピックの思い出

院長閑話

vol.11



病院長 小川 哲史

新型コロナウイルス感染症は未だ収束せず、蔓延防止措置も3月上旬まで延長になりました。社会全体が暗く、医療従事者は当院の職員を含め心身ともに疲労しています。そんな中、北京オリンピックが開催されました。東京オリンピックと同様、無観客での開催ですが、日本と時差がほとんどないため各競技をライブで観戦しやすいので、大いに盛り上がりますね。

1972年の札幌オリンピックと1998年の長野オリンピック、憶えていますか。札幌五輪は今から50年、半世紀前ですからアラ還以上の方じゃないと記憶にないかも知れません。札幌と言えば何と言ってもスキージャンプ競技です。笠谷幸生、金野昭次、青地清二の3選手が70m級（今のノーマルヒル）で金銀銅のメダルを独占し、「日の丸飛行隊」と言われ日本中を熱狂させました。ヘルメットは被らず、一般のスキーヤーと同じようなスキー帽に赤の上着、濃紺のオーバーオールスタイルで、両足をそろえて飛び姿が鮮明に思い浮かびます。そして思い出すのは「札幌の恋人」「銀盤の妖精」と言われたフィギュアスケート、米国のジャネット・リンです。本番で尻もちをつきながらも銅メダルを獲得し、その可憐な姿と演技、まさに世界のアイドルスターで、小学生の私も大ファンでした。今でも大会のテーマ曲だったトワエモアの「虹と雪のバラード」の曲とともに、札幌の真っ青な空を背にした「日の丸飛行隊」の勇姿とジャネット・リンの笑顔が鮮明に甦ります。

長野五輪からもすでに24年、四半世紀近くが経過しています。長野の一番の記憶もやっぱりスキージャンプですね。特に団体戦、一時中断したほどの猛吹雪の中、原田雅彦選手の1回目、日本中が心配していた通り(?)リレハンメルに続いてのまさかの失速…、ところが2回目は起死回生の最長不倒の大ジャンプ！そして最後のジャンパー船木和喜選手は、原田の「ふなき〜」の声援に送られ、世界一美しいと言われた完璧な大ジャンプ、まさにドラマより劇的な大逆転の金メダルでした！ラージヒルでの船木の金、原田の銅メダルジャンプは、白馬ジャンプ会場で実際に観ました。近くで実際に見るジャンプは想像以上にすごかった！原田はものすごい高さに飛び上がりドカーンと地上に落ちてくる感じ、一方の船木は踏み切った直後に身体とV字スキーが一直線となる深い前傾姿勢で、本物のグライダーのように低空を滑空していく感じです。長野のジャンプ競技は、観客をヒヤヒヤさせる千両役者の原田と、冷静沈着で秀麗な船木、タイプの異なる2人のスーパースターの競演でした。そしてスピードスケート500m金メダルの清水宏保選手。幼少のころからの気管支喘息や身長162cmとスポーツ選手としては恵まれず、外国人選手と比べ劣る肉体を極限まで追い込んだトレーニング、これまでの常識を覆した金メダルでした。弾丸のようなロケットスタート、低い姿勢での神がかり的な滑り、そしてゴール後の勝利を確信し両手を突き上げたガッツポーズ、全てがかっこ良かった。最高に絵になっていました。

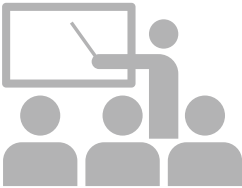
今回も小林陵侑、平野歩夢選手が金メダルを取りました。この2人もこれから伝説になるのでしょう。特に平野選手はあの状況から人間業と思えない異次元の「人類史上最高難度」の大技での金メダル、すでに伝説ですね。残念ながらこれまで高梨選手の失格やショートトラックでの疑惑の判定、ドーピングなどの問題が取りざたされていますが、北京五輪も残り1週間、まだまだ筋書きのないドラマが楽しみです。

(2月14日)

INFORMATION

行事などのお知らせ

お気軽に
ご参加ください



●第22回地域連携症例検討会

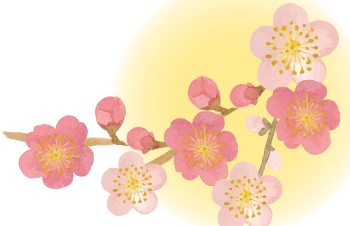
『甲状腺疾患による 内分泌緊急症の検討』

日時：2022年3月16日(水)
18:45~20:00

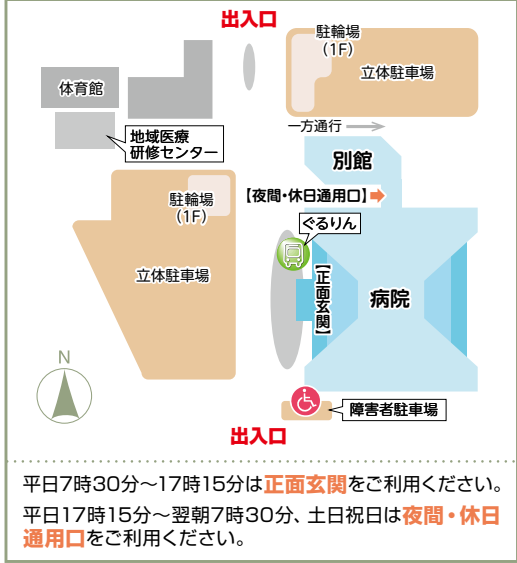
演者：内分泌代謝内科部長 渋沢 信行
乳腺・内分泌外科部長 高他 大輔

対象：医師等医療従事者

高崎総合医療センター講堂よりZOOM配信
※事前登録必要



高崎総合医療センター案内図



編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 027-322-5835 (医療機関専用ダイヤル)

独立行政法人・国立病院機構
高崎総合医療センター